

第22回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

試合結果・戦評報告書

競技日	8月 8 日 (火)	試合番号	C-み	回戦	決勝
種 別	男子	会 場	北陸電力体育館フレア		
Aチーム名			Bチーム名		
HC 和歌山			一般社団法人フレッサ福岡		
得点合計	小 計		小 計	得点合計	
21	11	前 半	9	18	
	10	後 半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦 評	<p>大会2連覇中のHC和歌山と、強豪を打ち破り勢いに乗るフレッサ福岡の対戦。立ち上がりは堅いDFと両チームGKの好セーブで引き締まった展開となる。4分、和歌山⑮本田が7mTで先制。福岡も⑰松永がこぼれ球を押し込み同点とする。和歌山⑰宮元、福岡②筒井が点を取り合い一歩も譲らない。その後福岡のミスから和歌山が3連取し15分、6対4とリードする。福岡も⑰松永のカットインで追いつけるが、ミスから逆に3連取され点差が広がる。21分、9対5和歌山リードしたところで福岡がタイムアウトを請求し、⑰松永が中央からディスタンスを決め追いつける。ここから両チーム点を取り合い3・4点差の攻防が続く。福岡が②筒井、⑬田辺が2連取で2点差に追いつけるが27分、福岡77神田が退場しピンチを迎える。しかしこの間、福岡GK①國分の連続セーブで離されない。11対9の和歌山リードで前半を終了する。</p> <p>後半、福岡⑭瀬戸がディスタンスを決めると、和歌山も⑪松波の速攻で取り返す。その後2点差の攻防が続くが12分、和歌山⑳松井がポストから決め3点差となる。15分、福岡に7mTとなるが、これを和歌山GK⑫前田が好セーブ。19分、福岡93栗崎のポストプレーに和歌山⑰宮元が退場すると、⑭瀬戸が確実に決め2点差に詰める。21分、逆に福岡②筒井が退場すると、和歌山⑮本田がサイドから決め再び3点差となる。23分、福岡33井内がカットから速攻を決めると、和歌山がタイムアウトから⑮本田がサイドから決め再び3点差とする。27分、福岡に7mTのチャンスを33井内が確実に決め2点差に追いつき望みをつなぐ。しかし28分30秒、福岡⑰松永が退場すると7mTを和歌山⑮本田が確実に決め、試合を決定づける。21対18で和歌山が勝利し、3連覇を達成した。</p>
-----	---



記載者氏名	表 健治 ・ 安藤 功規
送信日時	月 日 () :
送信者サイン	